

京都で輝く " 新・文化庁 "

文化庁地域文化 創生本部だより



Vol.4

マンガ、アニメーション、ゲーム、メディアアート等のメディア芸術は、新しい芸術の創造や芸術全体の活性化を促すとともに、海外でも注目されていることから我が国への理解や関心を高めています。文化振興とともにコンテンツ産業や観光振興、国際文化交流の推進の面でも大きな役割を担っているメディア芸術。この創造・発信支援事業のひとつである「文化庁メディア芸術祭」の地方展を地域文化創生本部が担当しています。



文化庁メディア芸術祭とは

文化庁では、アート、エンターテインメント、アニメーション、マンガの4部門において、高い芸術性と創造性をもつ優れたメディア芸術作品を顕彰し、その受賞作品の鑑賞機会を提供するため、1997年度から受賞作品の展示・上映や、シンポジウム等の関連イベントを実施する受賞作品展を開催しています。第23回文化庁メディア芸術祭では、世界107の国と地域から3,566作品の応募があり、2020年9月に東京・江東区の日本科学未来館を中心として受賞作品展を開催する予定です。

国内の様々な都市においてメディア芸術作品を発信

受賞作品を中心に優れたメディア芸術作品の鑑賞機会を提供するため、2002年度から国内の様々な都市において地方展を開催しています。今年度は、2020年1月に長崎県長崎市と北海道小樽市で開催しました。

長崎展「ワンダリングワールドくメグル・ニコロ・オドル」では、第22回エンターテインメント部門大賞作品の『チョコちゃんに叱られる!』の展示のほか、第18回エンターテインメント部門優秀賞作品の『のらもじ発見プロジェクト』



長崎展では、チョコちゃんも来展しました
©NHK (Japan Broadcasting Corporation)
All rights reserved.

『KAGE』近森基 / ©plaplap

による「のらもじレタリング缶缶バッチづくり」ワークショップなどのイベントも実施しました。また、小樽展「メディアナラティブく物語が生まれる港街で触れるメディア芸術」では、第1回デジタルアート（インタラクティブ）部門大賞作品の『KAGE』、第16回エンターテインメント部門審査委員会推薦作品の『初音ミク Project DIVA-1』や関連作品等を展示しました。

令和2年度も国内2箇所で開催を予定しています。皆様も、ぜひ会場で、優れたメディア芸術をご体感ください。



『百年海図巻アニメーションのジオラマ』 チームラボ / ©teamLab

文化庁広報誌
「ぶんかる」
キャラクター
ぶんちゃん



文化庁
地域文化創生本部

TEL:075-330-6720(代表)

<https://www.bunka.go.jp/>